

8 都薬会発第 34 号

令和 8 年 5 月 9 日

地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人東京都薬剤師会

会長 高橋 正夫

令和 8 年度「在宅医療での医薬品の品質確保」の実施について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、在宅医療における薬剤師は、患者宅を訪問し、残薬調整や一包化、お薬カレンダーの活用等を通じて薬物療法の管理を行うとともに、薬剤の保管状況（高温・多湿・直射日光の有無）の確認や使用期限のチェックなど、医薬品の品質管理を含めた安全な服薬支援を担っています。

令和 7 年度に実施した「在宅医療における医薬品の品質確保」に関する調査では、提出された一包化剤の一部に品質変化が認められました。これらの変化について、添付文書に記載されている「薬剤交付時の注意」及び「取扱い上の注意」等を踏まえると、その原因は主として湿気または光の影響によるものと推察されました（湿気：アスパラカリウム錠、光：マーズレン S 配合顆粒）。服薬方法の改善策として「お薬カレンダー」の活用は広く普及していますが、一方で、遮光性や防湿性の観点から課題が指摘されているのが現状です。

そこで本年度も、昨年度と同様に「在宅医療における医薬品の品質確保」をテーマとした調査を実施し、特にお薬カレンダー使用時の保存環境に着目した実態把握を行います。

つきましては、貴地区会員の皆様に本調査についてご周知いただくとともに、お薬カレンダーを用いて管理されている一包化剤につきまして、調査へのご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 対象薬局：会員の所属する薬局
2. 募集件数：先着 10 件
3. 対象薬剤：お薬カレンダーを活用している一包化剤（品質劣化が懸念されるものを含む）
（但し向精神薬、毒薬、覚せい剤原料及び麻薬は除く）
4. 募集期間：令和 8 年 5 月 11 日～7 月 31 日
5. 参加方法：検体提出票と一包化した薬剤 2 包（中身は全て同一）及び PTP 包装の同一薬剤 4 個ずつ（2 個は比較用、残りの 2 個は定量検討用）を都薬試験所宛送付
6. 調査方法：お薬カレンダーを活用している一包化剤を以下の条件で一定期間保存後、PTP 包装から取り出した直後と保存後の性状等を比較

保存条件

お薬カレンダーに入れて 1 週間及び 1 ヶ月間、試験室内で保存（温度・湿度・照度測定）

7. 調査期間：令和 8 年 5 月～10 月
8. 検査結果の報告：個別の結果を個々の薬局に送付する。

【問い合わせ先】

〒101-0054 千代田区神田錦町 1-21 東京都薬剤師会 衛生試験所

Tel: 03-3294-8840 e-mail:kensa@toyaku.or.jp

令和 8 年 5 月 9 日

薬局 各位

公益社団法人東京都薬剤師会

副会長 高松 登

令和 8 年度「在宅医療での医薬品の品質確保」の実施について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、在宅医療における薬剤師は、患者宅を訪問し、残薬調整や一包化、お薬カレンダーの活用等を通じて薬物療法の管理を行うとともに、薬剤の保管状況（高温・多湿・直射日光の有無）の確認や使用期限のチェックなど、医薬品の品質管理を含めた安全な服薬支援を担っています。

令和 7 年度に実施した「在宅医療における医薬品の品質確保」に関する調査では、提出された一包化剤の一部に品質変化が認められました。これらの変化について、添付文書に記載されている「薬剤交付時の注意」および「取扱い上の注意」等を踏まえると、その原因は主として湿気または光の影響によるものと推察されました（湿気：アスパラカリウム錠、光：マーズレン S 配合顆粒）。服薬方法の改善策として「お薬カレンダー」の活用は広く普及していますが、一方で、遮光性や防湿性の観点から課題が指摘されているのが現状です。

そこで本年度も、昨年度と同様に「在宅医療における医薬品の品質確保」をテーマとした調査を実施し、特にお薬カレンダー使用時の保存環境に着目した実態把握を行います。

つきましては、お薬カレンダーを用いて管理されている一包化剤がございましたら、本調査に検体をご提出いただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 対象薬局：会員の所属する薬局
2. 募集件数：先着 10 件
3. 対象薬剤：お薬カレンダーを活用している一包化剤（品質劣化が懸念されるものを含む）
（但し向精神薬、毒薬、覚せい剤原料及び麻薬は除く）
4. 募集期間：令和 8 年 5 月 11 日～7 月 31 日
5. 参加方法：検体提出票と一包化した薬剤 2 包（中身は全て同一）及び PTP 包装の同一薬剤 4 個ずつ（2 個は比較用、残りの 2 個は定量検討用）を都薬試験所宛送付
6. 調査方法：お薬カレンダーを活用している一包化剤を以下の条件で一定期間保存後、PTP 包装から取り出した直後と保存後の性状等を比較

保存条件

お薬カレンダーに入れて 1 週間及び 1 ヶ月間、試験室内で保存（温度・湿度・照度測定）

7. 調査期間：令和 8 年 5 月～10 月
8. 検査結果の報告：個別の結果を個々の薬局に送付する。

【問い合わせ先】

〒101-0054 千代田区神田錦町 1-21 東京都薬剤師会 衛生試験所

Tel: 03-3294-8840 e-mail:kensa@toyaku.or.jp

受付番号 No.

令和 8 年度「在宅医療での医薬品の品質確保」 検体提出票

受付日：_____

受付日、受付番号は試験所で記入

薬局名			
所在地	〒		
連絡先	TEL	担当者名	

一包中の すべての 薬剤名 (商品名) ¹⁾	
調剤日	年 月 日
劣化が疑われ る場合には その薬剤名	
劣化が疑われ る状態	色 : 褐色 ・ 黄変 ・ その他 () 形状 : 膨張 ・ その他 () 臭い : 酸敗臭 ・ その他 ()
その他 (申し 込みの動機)	

1) 例示：プラバスタチン Na 錠 5mg 「トーワ」 バルサルタン錠 40mg 「FFP」
一包中の含有薬剤の種類・数は同一でございます